

さまざまな分野で使われる 部品をバレル研磨で支援

納期相談
コスト相談
試作可
小ロット
量産対応



東洋バレル技研を支える従業員たち

業務内容 顧客の要望に応じ 積極的な加工提案を

「東洋バレル技研」は社名にも入る通り、バレル研磨一筋に事業を展開しており、金属・樹脂部品のバレル研磨処理を中心に扱っている。表面処理を施すバレル研磨後には、付帯するバリ取りから酸化被膜除去、光沢仕上げなどの部品加工も手がけ、顧客の要望に沿った加工をしている。自動車や自転車、産業機械、精密制御機器、照明機器など幅広い分野向けに部品加工も請け負う。アルミニウムや鉄、ステンレス、チタンなどのバレル研磨にともなう各種加工用の設備も、回転や振動の各種バレル機を取り揃え、積極的な加工の提案をしている。

強み 要望があれば対応する 多品種小ロットの受注体制

別所社長は「バレル研磨の受注には特定の業界がない。需要さえあれば対応する」と強調。既存の受注分野に加えて、最近ではアクセサリや調理器具、林業などに使われる刃物の受注もあるという。

バレル研磨とはワーク（対象物）を粒子状の研磨材などと一緒バレル（樽）の中に入れて、そのバレルを回転や上下させることで研磨するもの。同社ではバレル専門に培ったノウハウによる多品種小ロット対応が大きな強みだ。単独での展示会出展、展示会出展企業への営業やダイレクトメールによる案内など、攻めの姿勢も奏功している。

福利厚生 「居心地の良い会社」で 女性も活躍する環境

中小企業の製造業にあつて、女性従業員の活躍が目立つのも同社の特徴だ。パートを含めた10名の従業員のうち、6名が女性

スタッフとなる。小型設備の使用や検品・梱包など繊細な作業で活躍し、製造工程の一部も管理している。別所社長は「当社は居心地の良い会社だ」と胸を張る。

給与面では7月、12月の年2回の賞与と、10月には寸志も支給する。社内で大掃除を実施する時期には、各従業員の家庭にある大型ゴミも持参させ、会社負担で一緒に処理できるという。年末年始やお盆休み前には従業員にビールかソフトドリンクを1ケースずつ支給するなどユニークな支援もある。

今後の展望 生産や営業面で増強策 経営基盤を強化

別所社長は今後の中期経営計画を策定し、「7年後には売上高を現在から倍増規模の2億円到達を目指したい」と力を込める。多品種小ロットの供給を支えるために、社長自身がハンドルを握る自社のトラック便があり、現在は大型トラックの購入を計画している。生産面では揺動式遠心バレル研磨機を導入し微細部品のバリ取りなどができるが、10年以内をめどに工場新設も視野に入れ、さらなる設備増設も計画している。



納品前は丁寧な検査を欠かさない



バレル研磨で世の中への貢献を

当社の歴史



創業以来、バレル研磨一筋に加工技術を高めてきました。社名の由来は東洋一のバレル業者、海をわたり、世界に羽ばたけるような思いを込めております。経営理念でも掲げている、世の中にとって必要となる企業になれるよう、今後も顧客の要望に、きめ細かなバレル研磨で対応してまいります。

代表取締役 別所 長政さん

<http://www.to-yo-barrel.com/>

主な事業内容

アルミニウム・ステンレス・チタン・鉄・樹脂部品などのバレル研磨加工

主な取引先(納入先)

自動車部品、照明器具、精密部品、メガネフレーム、ナット、アクセサリの各メーカー

- 住 所 〒547-0002 大阪市平野区 加美東4-5-11
- TEL 06-6792-9522
- FAX 06-6793-2037
- 創業 昭和50年4月
- 設立 昭和52年10月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 10名